

教科名	科目名	単位数	授業形態	系統	履修年次
数学β	数学B・C	2	習熟度別	普通科文系・理系	2

教科書（発行所）	新編数学B（数研出版），新編数学C（数研出版）
教科書以外の教材	1 チャート式 数学Ⅱ+B+C（ベクトル）（数研出版） 2 3 T R I A L 数学Ⅱ+B+C（ベクトル）（数研出版）

目 標		数列，統計的な推測，平面上のベクトル，空間のベクトル，複素数平面，式と曲線について理解し，基礎的な知識の習得と技能の習熟を図る。また，事象を数学的に考察する能力を培い，数学のよさを認識できるようにするとともに，それらを活用する態度を養う。そして，積極的に数学を活用しようとする態度，粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度，問題解決の過程を振り返って考察を深めたり，評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。		
	学期	学習事項	学習内容	考查等
学習計画	1 学期	数学B 第1章 数列 第1節 等差数列と等比数列 第2節 いろいろな数列 第3節 漸化式と数学的帰納法	数列と一般項，等差数列，等差数列の和，等比数列，等比数列の和 和の記号Σ，階差数列，いろいろな数列の和 漸化式，数学的帰納法	実力考查 中間考查
		数学B 第2章 統計的な推測 第1節 確率分布	確率変数と確率分布，確率変数の期待値と分散，確率変数の和と積，二項分布，正規分布	期末考查
		第2節 統計的な推測	母集団と標本，標本平均の分布，推定，仮説検定	実力考查
	2 学期	数学C 第1章 平面上のベクトル 第1節 ベクトルとその演算 第2節 ベクトルと平面図形	ベクトル，ベクトルの演算，ベクトルの成分，ベクトルの内積 位置ベクトル，ベクトルの図形への応用，図形のベクトルによる表示	中間考查
		数学C 第2章 空間のベクトル	空間の点，空間のベクトル，ベクトルの成分，ベクトルの内積，ベクトルの図形への応用，座標空間における図形	
		数学C 第3章 複素数平面	複素数平面，複素数の極形式，ド・モアブルの定理，複素数と図形	期末考查
	3 学期	数学C 第4章 式と曲線 第1節 2次曲線 第2節 媒介変数表示と極座標	放物線，楕円，双曲線，2次曲線の平行移動，2次曲線と直線 曲線の媒介変数表示，極座標と極方程式，コンピュータの利用	実力考查 学年末考查
授業の受け方・学習に向けてのアドバイス等		1 授業に集中し，意欲的に問題に取り組む。そして，授業中分からなかった問題はその日のうちに解決する。 2 すぐに解答を求めるのではなく，考えることに重点を置く。 3 日々題・週課題に全力で取り組み，期限内に提出する。 授業では，説明を聞いて解法を覚えるのではなく，クラス全体で学び合い，考え合うことで理解を深めることを目的とします。そのため，間違えることを恐れず積極的に授業に参加することが授業理解の第一歩です。数学において大切なことは，考える力を養うことです。それこそが数学を学ぶ意義であり，「何のために数学を学ぶのか」の一つの解答ではないでしょうか。そのためにも授業や課題等を工夫し，皆さんが「一番好きな教科は数学」と言ってくれるように取り組んでいきます。「もっとこうしてほしい」という要望があればいつでも教えてください。指宿高校での数学を楽しみましょう。		

評価の観点	知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体的に学習に取り組む態度
	数列，統計的な推測，ベクトル，複素数平面，2次曲線についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解する。また，事象を数学化したり，数学的に解釈したり，数学的に表現・処理したりする技能を身に付ける。	散的な変化の規則性に着目して事象を数学的に表現し考察する力，確率分布や標本分布の性質に着目して母集団の傾向を推測し判断する力，大きさと向きをもった量に着目して演算法則やその図形的な意味を考察する力，図形や図形の構造に着目してそれらの性質を統合的・発展的に考察する力を養う。	数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度，粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度，問題解決の過程を振り返って考察を深めたり，評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。
評価の方法		定期考查，学習活動への参加の態度，提出物の内容及び自己評価等を総合的に評価します。知識・技能にもとづいた思考力・判断力・表現力及び主体的に学習に取り組む態度すなわち普段の学習活動を評価しますので，本質的な力を磨くようにしてください。	